

町会報

えひめ

2010

5

Vol.14

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



久万高原町「面河小学校」

Contents

四国四県町村会長・事務局長会議	2
本州四国連絡高速道路の料金設定について要望	2
町(市)新規・初級職員研修会	3
第1回議員研修会のお知らせ	4
全国議長・副議長研修会	4
議長会都道府県会長会	4
地方6団体の動き	5
全国町村議会議員団体補償制度	6
一筆	7
5月の行事	7
市町振興協会サマージャンボ	8

石鎚山、面河溪と雄大な大自然のなかに幼稚園と小学校を木造で新築しました。

旧小学校の老朽化に伴い建て替えたもので、玄関にはシンボルとなる大きな磨き丸太。外装・内装は地元産の「杉」を使用した平屋で、オレンジ色の屋根は周囲の緑と良く調和がとれています。

木の香りと温もりのあるこの校舎は、いつも子どもたちの元気な声が響いています。

四国四県町村会長・事務局長会議

5月10日 松山市で開催

四国四県町村会長・事務局長会議が5月10日、松山市「にぎたつ会館」において開催された。

会議では、①平成21年度四国四県町村長大会決算について②平成22年度四国四県町村長大会開催要綱(案)について③平成22年度四国四県町村長大会予算(案)について④平成22年

度四国四県町村長大会開催に伴う依頼事項について⑤新たな料金制度における本州四国連絡高速道路の料金設定(案)について⑥その他等を協議し、本年度の大会を、10月12日(火)午後3時から徳島市の「ホテルクレメント徳島」において開催することになった。

平成22年度四国四県町村長大会開催要綱

1. 名称 四国四県町村長大会
2. 目的 四国四県の町村長が一堂に会し、町村自治に関する当面の重要問題について審議決定し、その実現を図り、町村自治の振興と住民福祉の増進を期する。
3. 主催 四国四県町村会共催
4. 開催日時 平成22年10月12日(火)
(1) 会議 午後3時00分開会 午後4時30分開会
(2) 意見交換会 午後5時00分開会 午後7時00分開会
5. 開催場所 「ホテルクレメント徳島」4階 クレメントホール
住所 徳島市寺島本町西1丁目61番地
TEL 088-656-3111
6. 出席者 四国四県町村長 全員
7. 提出議題 8題程度(各県から3～4題提出し、取りまとめる)
8. 大会次第
(1) 開会のことば
(2) 国歌斉唱
(3) 地元会長あいさつ
(4) 宣言
(5) 来賓祝辞 徳島県知事、全国町村会長、徳島県議会議長、徳島県市長会長、徳島県町村議会議長会長
(6) 祝電披露
(7) 議長選出
(8) 議事 (イ) 前大会経過報告 (ロ) 各県提出議題審議
(9) 決議
(10) 実行運動方法協議
(11) 次期大会開催県の決定
(12) 閉会のことば
9. 意見交換会
(1) 開会
(2) 地元会長あいさつ
(3) 乾杯
(4) 懇談
(5) 万歳三唱
(6) 閉会

新たな料金制度における本州四国連絡高速道路の料金設定について

本州四国連絡高速道路は、四国と本州とを結ぶ大動脈であり、両地域の連携や交流、物流や経済活動、さらには文化の振興等を支える重要な路線である。

しかしながら、現在、他の高速道路に比べて割高な料金が設定されており、観光振興はもとより農林水産物の流通や企業誘致等において大きな障壁となっている。

更に、今回、国土交通省が発表した新たな料金割引制度では、本州四国連絡高速道路の料金が他の高速道路と別料金となり、上限額も割高に設定されることから、本州・九州の移動に比べて2倍から3倍の大きな格差が生じることになる。

これは地域間格差の拡大を助長する施策と言わざるを得ず、法の下での平等や国民の社会的、経済的平等あるいは地域振興の観点から到底受け入れることはできない。

よって、四国四県町村会は、本州四国連絡高速道路の料金改定にあたり、下記事項の実現を強く要請する。

- 1 本州四国連絡高速道路の効果を十分に発揮させ、かつ、地域間格差を是正するため、高速道路の料金については、全国一律の料金制度とすること。
- 2 新たな料金制度により影響を受ける公共交通機関に対して、利用促進を図るため、国において、各交通機関に応じた適切な支援を行うこと。

平成22年5月10日

愛媛県町村会長	白 石 勝 也
高知県町村会長	吉 岡 珍 憲
徳島県町村会長	広 瀬 憲 宏
香川県町村会長	小 國

四国四県町村会長・事務局長会議で決定した「本州四国連絡高速道路

本州四国連絡高速道路の料金設定について要望



の料金設定」について、本会では白石会長が5月21日に民主党県連を訪ね、横山幹事長に面談要請したほか、政府、政党や本県選出国會議員らに要望文を送付し強く訴えた。

新規採用・初級職員研修会 あわせて49人が受講

本会は、本年度の「町(市)職員研修計画」に基づいて、「新規採用職員研修会」「初級職員研修会」(5月19日から21日まで)をえひめ青少年ふれあいセンター(松山市上野町)において、それぞれ実施した。

新規採用職員研修、初級職員研修の修了証書に替えて別項「受講者名簿」を掲載する。

平成22年度「新規採用職員研修会」 受講者名簿 36人

市町名	課名	氏名
上島町	企画政策課	山尾 宥翔
〃	広報情報課	元森 龍太
〃	総務課	松坂佑佳乃
〃	公営事業課	徳田千絵美
松前町	福祉課	久保 美文
〃	町民課	中川 智博
〃	産業課	森実 祐規
〃	上下水道課	河内 竣
〃	社会教育課	田中 亮典
〃	黒田保育所	程内 迪子
〃	小富士保育所	安永 岳正
〃	二名保育所	佐賀ゆかり
〃	松前幼稚園	中川 尚美
〃	古城幼稚園	渡邊 裕月
〃	介護福祉課	野々下博子
〃	砥部保育所	西崎 恭平
〃	麻生幼稚園	武田 聡美
〃	教育課	森岡 隆宏
〃	教育課	岡本 隆宏
〃	住民福祉課	菊地 健

平成22年度「初級職員研修会」 受講者名簿 13人

市町名	課名	職名	氏名
内子町	住民福祉課	職員	井関 憲利
〃	産業建設課	職員	毛利 政友
〃	住民福祉課	職員	中川 涼香
伊方町	総務課	職員	木屋村雅也
〃	総務課	職員	松本 勇太
〃	総務課	職員	木村 一也
〃	総務課	職員	森元 俊介
伊方町	大久保育所	職員	谷口 薫
〃	九町保育所	職員	阿部 良美
〃	税務課	職員	影浦 悠生
〃	税務課	職員	岡崎 秀太
〃	税務課	職員	山下あずさ
〃	税務課	職員	高平真由美
〃	税務課	職員	松田 純一
〃	税務課	職員	清水 歩美
〃	税務課	職員	清水 大象
市町名	課名	職名	氏名
松前町	税務課	係員	白石 未和
〃	保険課	係員	西畑 佳樹
〃	福祉課	係員	山本 祐輝
〃	産業建設課	主任	東山 泰久
〃	産業建設課	主任	亀田 高志
〃	総務課	主任	松浦 直樹
〃	教育課	主任	上岡 琢磨
〃	保健福祉課	主任	松澤 法久
〃	保健福祉課	主任	渡邊 尚浩
〃	保健福祉課	主任	中田 千春
〃	保健福祉課	主任	中村 理恵
〃	保健福祉課	主任	上岡 理恵
〃	保健福祉課	主任	武田 菜奈

平成22年度 町(市)初級職員研修会 研修日程

時間帯	<第1日目> 5月19日(水)	<第2日目> 5月20日(木)	<第3日目> 5月21日(金)
6:30-7:00		起床 朝の集い (7:00-7:10)	起床 朝の集い (7:00-7:10)
8:00		清掃 (7:10-7:30) 朝食、研修の準備等 (7:30-8:20)	清掃 (7:10-7:30) 朝食、研修の準備等 (7:30-8:20)
9:00		研修「選挙制度」 (8:30-10:50)	研修「地方税制度」 (8:30-10:20)
9:30	集合 (県自治会館の場合)		
10:00	研修会場 受付		
10:30	開講式 オリエンテーション	研修「自己表現の仕方」 (11:00-12:00)	研修「地方公務員制度」 (10:30-12:00)
11:00	研修「地方公務員共済組合制度」 (11:30-12:00)		
12:00	<昼食>	<昼食>	<昼食>
13:00	研修「地方自治制度」 (13:00-14:50)	研修「地方財政制度」 (13:00-14:50)	研修「地方行政」 (13:00-14:20)
14:00			効果測定(14:30-15:00) 奉仕活動(15:00-15:20)
15:00	研修「人権問題」 (15:00-16:30)	研修「地域支援」 (15:00-16:30)	閉講式 (15:25-)
16:30			解散 (15:30)
17:00	夕べの集い (17:00-17:20)	夕べの集い (17:00-17:20)	
18:00	ふれあい研修 (18:00-20:00)	夕食(交歓会) (17:20-18:30)	
19:00		研修「倫理と自己啓発」 (19:00-20:30)	
20:00	入浴 (20:30-22:10)	入浴 (20:30-22:10)	
22:30	消灯	消灯	

平成22年度 町(市)新規採用職員研修会 研修日程

時間帯	<第1日目> 5月19日(水)	<第2日目> 5月20日(木)	<第3日目> 5月21日(金)
6:30-7:00		起床 朝の集い (7:00-7:10)	起床 朝の集い (7:00-7:10)
8:00		清掃 (7:10-7:30) 朝食、研修の準備等 (7:30-8:10)	清掃 (7:10-7:30) 朝食、研修の準備等 (7:30-8:10)
9:00		研修「地方公務員共済組合制度」 (8:30-9:00)	研修「公文書の作成と扱い方・整理」 (8:30-10:20)
9:30	集合 (県自治会館の場合)		
10:00	研修会場 受付		
10:30	開講式 オリエンテーション	研修「地方自治・財政・税のしくみ」 (9:00-12:00)	研修「人権問題」 (10:30-12:00)
11:00	研修「講話」 (11:30-12:00)		
12:00	<昼食>	<昼食>	<昼食>
13:00	研修「職場のマナー」 (13:00-14:20)	研修「公務員のあり方」 (13:00-13:50)	研修「地方行政について」 (13:00-14:20)
14:00	研修「接遇」 (14:00-16:30)	研修「接遇」 (14:00-16:30)	
15:00	研修「電話の応対等」 (14:00-16:30)		効果測定(14:30-15:00) 奉仕活動(15:00-15:20)
16:30			閉講式(15:25-) 解散(15:30)
17:00	夕べの集い (17:00-17:20)	夕べの集い (17:00-17:20)	
18:00	ふれあい研修 (18:00-20:00)	夕食(交歓会) (17:20-18:30)	
19:00		研修「倫理と自己啓発」 (19:00-20:30)	
20:00	入浴 (20:30-22:10)	入浴 (20:30-22:10)	
22:30	消灯	消灯	

お知らせ

県町村議会議長会主催による「平成22年度第1回町議会議員研修会が、次のとおり開催されることになりました。

地方分権が進む中で議会や議員の姿が問われています。

また、政権交代が行われ、与野党が激しい攻防が続いています。こうした状況の中で参議院選挙の政局がどう動くのか注目が集まっています。講師は八幡浜市出身の磯崎教授と、テレビでおなじみの田崎解説委員長です。

会場は、今回は松前総合文化センターでの開催です

多くの関係者の出席をお願いします。

なお、紙面の都合から、講師2人のうち田崎解説委員長のプロフィールのみを紹介します。

とき 7月28日(水)

13:30~16:30

ところ 松前総合文化センター

講師

「議会改革への期待(仮題)」
中央大学法学部教授
磯崎 初仁氏

「政局展望(仮題)」
時事通信社解説委員長
田崎 史郎氏

田崎 史郎(たざき・しろう)先生ご略歴

[2010年5月現在]

時事通信社解説委員長



- ◆昭和25年(1950年)6月22日 福井県坂井郡三国町(現坂井市)生まれ。59歳。
 - ◆福井県立藤島高校を経て昭和44年(69年)4月、中央大学法学部法律学科入学、同48年(73年)3月卒業
 - ◆昭和48年(73年)4月、時事通信社入社 経済部、浦和支局を経て54年(79年)から政治部
 - ◆政治部で内閣記者会(首相官邸記者クラブ)、外務省記者クラブを経て昭和57年(82年)4月から平河(自民党担当)記者クラブで2年9カ月間、田中派を担当。これ以来、田中、竹下派、橋本派を中心に取材。
 - ◆公明党や民社党を一時担当し、首相官邸クラブのサブキャップを経て平成元年(89年)8月から平河クラブのサブキャップとして再び竹下派を担当。平成3年(91年)4月から平河クラブキャップ
 - ◆平成5年(93年)夏の自民党政権崩壊を見た後、9月から政治部次長。同6年(94年)10月から編集局付、同9年(97年)10月編集委員、同15年(2003年)4月から整理部長兼解説委員。同16年(04年)6月から編集局総務兼解説委員。同17年(05年)4月から編集局次長兼解説委員。同18年(06年)6月から22年(10年)6月まで解説委員長。政治取材は約31年になる
 - ◆テレビ朝日系「報道ステーション」、フジテレビ系「とくダネ!」などに出演。フジテレビ「月9」ドラマ「CHANGE」監修。「文藝春秋」「週刊現代」などに執筆
 - ◆主な作品 =『小沢一郎氏との決別』(「文藝春秋」94年10月号)。「経世会死闘の七十日」(95年12月、講談社刊、ペンネーム大家清二)、同書は『竹下派死闘の七十日』と改題、加筆の上、2000年11月文藝春秋「文春文庫」から実名で出版。04年12月『梶山静六 死に顔に笑みをたたえて』(講談社刊)を出版。近著に『政治家失格 なぜ日本の政治はダメなのか』(文春新書、09年3月発売)
- 兼職 =国土交通大臣の諮問機関である「国土審議会」委員。2010年3月から3年間。

第35回町村議会

議長・副議長研修会

メルパルク東京で開く

全国町村議会議長会主催による第35回町村議会議長・副議長研修会が、5月18・19日の両日、東京・メルパルクホールで開催され、本県から15名の正副議長ほか関係者が出席した。研修会は、野村全国議長会会長(長野県)の開会あいさつで始まり、次のとおり講演やシンポジウムが開催された。

【講演】

○「地域主権改革とまちづくり」

内閣総理大臣補佐官

逢坂 誠二氏

○「森林管理・自然環境保全と

まちづくり」

日本森林管理協議会代表

太田 猛彦氏

○「伝統文化を生かしたまちづくり」

(株)榊一市村酒造場代表取締役

セーラ・マリ・カミングス氏

【シンポジウム】

○パネルディスカッション

テーマ

「議会の活性化とまちづくり」

コーディネーター

全国町村議会議長会次長

岡本 光雄氏

パネリスト

北海道今金町議会議長

山本 豊氏

神奈川県葉山町議会議長

鈴木 道子氏

長野県小布施町議会議長

越 将俊氏

福岡県荊田町議会議長

武内幸次郎氏

都道府県会長会を開催

全国町村議会議長会

全国町村議会議長会は、5月20日、全国町村議員会館で都道府県会長会ほか関連会議を開催した。

会議は、はじめに消費者庁長官の内田俊一氏から「消費者行政について」と題する講演があったのちに、役員補欠選挙を行い、続いて各団体の平成21年度決算の審議を行い、原案のとおり承認された。

次に、「町村議会の制度・運営に関する検討委員会の審議状況」について説明があり、最後に「第3次地方(町村)議会活性化研究会の審議状況」の報告があった。引き続き、民主党幹部との意見交換会(後掲)があった。なお、本会から吉村議会議長と事務局職員が出席した。

「地方6団体の動き」

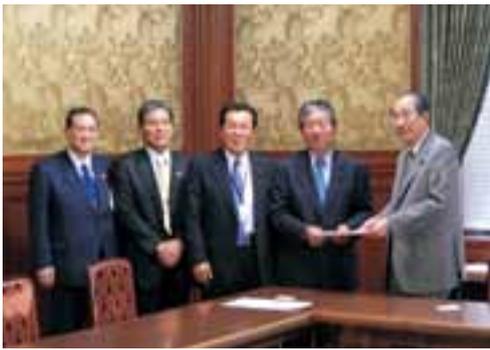
緊急声明

地方主権関連3法案の
今国会成立を！

全国町村会・同議長会など地方6団体は5月21日、地域主権関連3法案の今国会での成立を求め、緊急声明を発表した。

声明では、「国と地方の協議の場に関する法律案」、「地域主権改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案」及び「地方自治法の一部を改正する法律案」の3法案は、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組む真の分権型社会の実現のために必要不可欠なものである、今国会において成立させるよう強く求めている。

6団体の代表は、5月24日、高嶋民主党筆頭副幹事長(写真)、福田民主党衆議院総務委員会理事、重野社



民党幹事長、大島自民党幹事長及び小川総務大臣政務官に面会し、地域主権関連3法案の今国会での成立を強く求めた。

全国町村議会議長会

民主党幹部との
意見交換会を開催！

全国町村議会議長会は、5月20日に全国町村議事会館で都道府県議長会長と民主党幹部との意見交換会を開催した。

はじめにあいさつに立った野村全国町村議長会長は、「鳩山政権が誕生し、その1丁目1番地として地域主権改革が掲げられたことは大変心強く、大きな期待とともに、現在、法制化に向けて国会で審議中の地域主権3法案の早期成立を期待している。また町村は過疎化・高齢化が加速する一方、東京への一極集中がさらに進んでいるので、その格差解消を図り、元気を出せる制度改革をお願いしたい。特に、地方交付税をはじめ町村の税財源の充実強化が重要課題であるとともに、一括交付金の創設では条件不利地域を抱える町村の厳しい実態を十分踏まえ、特段の配慮をお願いしたい。」と述べた。

次にあいさつに立った高嶋筆頭副幹事長は、「民主党政権の売りは、官僚主導から政治主導へ、コンクリートから人へ、中央集権から地域主権への3つであり、地域主権3法案は6月16日の会期末までに必ず成立させたい。

小さな自治体ほど苦勞している状況を踏まえ、過疎地域自立促進特別措置法は制度を拡充して6年間延長させるとともに、地方交付税は1兆1000億円増額した。地方議会議員年金制度については、国策として行った市町村合併により町村議会議員が一方的に減ったことが大きな原因。市町村の年金財政が窮迫している状況から、国の公費負担も含めて健全化を図っていくことが必要ではないかと考えており、皆さんと相談しながら対応したい。」と述べた。

この後、出席の民主党幹部の国會議員と、○戸別所得補償制度、○地方議會議員年金、○国民健康保険、○沖縄米軍基地、○宮崎口蹄疫、○子ども手当、○公共事業、○高速道路通行料金及び原子力発電所建設に係る諸課題について、活発な意見交換が行われた。



新議長紹介

5月7日の久万高原町議会臨時会において議長選挙が行われ、田村友信氏を選出された。

久万高原町議会議長

田村友信氏



あなたが決める日本の未来

第22回 参議院議員通常選挙

7月11日(日)

投票時間は午前7時から午後8時まで(一部地域を除く)

期日前投票ができる期間は6月25日(金)から7月10日(土)まで

選挙区は候補者名を、比例代表は候補者名または政党等の名称を記入してください。詳しくは「愛媛県選挙管理委員会」で「検索」



発行日の関係で、本号に掲載しました。

全国町村議会議員 団体医療保険

病気の保険

新・団体医療保険(医療保険基本特約・疾病保険特約セット団体総合保険)

次回募集期間 平成22年9月~平成22年11月末

保険期間 平成23年1月1日午後4時から1年間

「病気」を補償し、ご安心をお届けする制度です。



安心の団体医療保険 5つの特長

1 「病気」を補償します!

- 病気による入院・手術を補償します。三大疾病(がん・急性心筋こうそく・脳卒中)となった場合の補償もセットできます。
- 病気による入院は、日帰り入院から補償します(注1)。また、1回の入院につき120日限度、通算1,000日まで補償します。

2 団体割引30%の、割安な保険料です!

ご加入年齢 60歳~64歳の場合 疾病入院 1日つき **5,000円** **18,270円**
 疾病手術保険金 (保険期間1年、年払、
 手術の種類により **20・10・5万円** (団体割引30%適用)

3 議員・退職議員の皆さまのための制度です!

- 議会議員を退職後も、継続して加入できます。
- 議員の皆さまの配偶者も加入できます。
- 79歳(補償開始日時点の満年齢)まで加入できます。

4 お手続きは簡単です!

- ご加入の際、医師の診査は不要です。簡単な告知で加入できます(注2)。
- 補償期間は1年間です。以降1年ごとに自動継続となりますので、お手間が掛かりません(注3)。

5 無料の健康・介護相談サービス(損保ジャパン・アシスタントダイヤル)をご利用いただけます!

(注1) 日帰り入院とは、1日だけ入院と同じような形で病室を使用した場合などのことをいい、「入院料」の支払いの有無で判断します。
 (注2) 加入依頼書および被保険者健康告知書の内容により、お引き受けをお断りしたり、お引き受けの条件を制限させていただくことがあります。
 (注3) 本制度は保険期間の途中での中途加入はできません。

- ご契約者以外の被保険者(保険の対象となる方)にも、このパンフレットに記載した内容をお伝えください。
- このパンフレットは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンにお問い合わせください。

【保険契約者】
全国町村議会議員互助会

【取扱代理店】
株式会社 まちむら
〒102-0082 東京都千代田区一番町25 全国町村議員会館
TEL 03-3264-6830 FAX 03-3264-8308

【引受保険会社】
株式会社 損害保険ジャパン

SJ10-00575 2010.4.21



日々の大人の姿勢

5月5日は、国民の祝日「子供の日」である。「子供の人格を重んじ、子供の幸福をはかる趣旨で制定」(広辞苑)とある。

しかし、今日、子供を取り巻く環境は、無垢で素朴な可愛さ、真の愛情を以前と比べ格段に失ってきたのではなからうか。受験競争は昔から存在した、ゆとり教育の是非、『鉄は熱いうちに打たなければ』と先人の例えもあるが、愛情の薄い中で過剰な人格の重んじは、無気力とも思える教育へ。箸の持ち方、まで学校教育の指導範囲とする無感覚な親たち。支払い能力がありながら給食費を払わない親達の存在、食糧不足であった終戦直後の小学児の昼食時間は、過去の話である。給食より親の作った弁当持参の方が、親子の絆を創り家庭教育の実践になるであろうに。現代は、何となく倫理や哲学の無いと思われる中途半端な大人意識に振り回されている感がする。

「金」に関わる現世の歪んだ部分？として『この世の中、お金で買えないものはない。』と言いつつ、数年前に居た。『金で買えるものだけが現実だと思っている人にとっでは正しい。しかし、実際にはそう

でありません。これは意識することだけが現実かという話と同じところにつながるわけです。金で買えないものもある。』(養老土司司「超バカの壁」より)。

目下、日本は少子化対策に努めている。しかし、あまりあたふたし過ぎでは、高齢者の実労働活用化と少子精鋭による少数堅実で縮小した社会創造への道は如何。方や地球環境が叫ばれる時でもある。地球は一つ、人口は超増加一途にありこのままでは現在67億人が90億人(30年後)の推計、食糧需給のアンバランスを真剣に危惧する識者は多い。外貨があっても自然界との兼ね合いがある食糧の確保は難しい付録が付く。

今、日本は、国民の個人資産約1400兆円と有価証券(米国の)、現預金、貸付金、国有財産など国家資産約700兆円を有し、GDPの1.8倍の大借金財政は心配無用との説もあるが、この6月から「こども手当」2兆2500億円が支給開始される。『手当は助かる。』一方『次世代に借金を残すことは心配、されど頂けるものは頂く。』街の声。

「子供」への贈り物、引継ぎは、借金返済を避け、何事も数に偏重踊るではない将来への夢と希望が持てる社会構築であろう。そのため大人の立ち居振る舞い行動は、目先の事とか衝動的であってはならない。現下の大人は、日々の姿勢を。

「子供は、大人の父親である」(ワーズ ワース 英国の詩人)

5月の会と催し

- ▽7日 愛媛県人権教育協議会第43回定期総会
- ▽10日 地方公務員給与実態調査等説明会、(財)愛媛県消防協会最初の評議員選任に伴う理事会、四国四県町村会会長・事務局長会議
- ▽11日 松山空港利用促進協議会監事監査
- ▽12日 平成22年度公務災害防止研修会、平成22年度社団法人愛媛県観光協会理事会
- ▽14日 (財)愛媛県廃棄物処理センター平成21年度事業報告及び収支決算の事務監査、愛媛県水防協会
- ▽17日 平成22年度愛媛県消防協会正副会長会、愛媛県介護保険審査会総会
- ▽18日 第35回町村議会議長・副議長研修会(19日まで)、内外情勢松山支部懇談会
- ▽19日 町新規採用・初級職員研修会(21日まで)、(財)愛媛県廃棄物処理センター平成21年度事業報告及び収支決算の監査
- ▽20日 全国町村議会議長会都道府県会会長会ほか関連会議、民主党幹部との意見交換会、(財)愛媛県国際交流協会平成21年度監事監査、愛媛県土木協会役員会及び第61回定期総会、災害共済事務研修打合せ
- ▽21日 新たな料金制度における本州四国連絡高速道路の料金設定に関する要望
- ▽22日 (財)愛媛県浄化槽管理センター理事会
- ▽24日 平成22年度愛媛県統計協会役員会、(財)愛媛県市町振興協会事前監査、(財)愛媛県暴力追放推進センター平成22年度評議員会及び理事会
- ▽25日 (財)えひめ産業振興財団評議員会、(財)愛媛県国際交流協会平成22年度第1回理事会、平成22年度松山市防火管理者連絡協議会定期総会
- ▽26日 (財)愛媛県廃棄物処理センター理事会(第1回)、平成22年度愛媛県消防大会、愛媛県農業会議5月定例常任会議員会議
- ▽27日 政調幹事・災害共済幹事合同会議、政調幹事会(経済農林部会)、北方領土返還要求県民会議の運営委員会及び理事会、四国開発幹線自動車道期成同盟会決算監査、平成22年度中・四国ブロック過疎対策担当課長等会議(28日まで)
- ▽28日 (財)えひめ地域政策研究センター第21回評議員会、平成22年度松山空港利用促進協議会総会
- ▽29日 愛媛県立中央病院整備運営事業一号館新築工事起工式

今年の夏は、ふたつのサマー。

新登場!

同時
発売

サマージャンボ **1000万サマー**

1等・前後賞合わせて3億円 (1等 2億円 前後賞 各5千万円) 2等 1億円

1等 1千万円×600本

2010年市町村振興宝くじ

7月7日(水)発売

発売期間：7月7日(水)～7月30日(金) 抽せん日：8月10日(日)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。 (財)全国市町村振興協会/全国市長会/全国町村会/全国市議会議員会/全国町村議会議員会

3億円ゆつたら
道後温泉にどんだけ
入れるかの〜

秋山好古

わしは
1000万サマー
買おうかの〜

正岡子規

おれでめめサマーのかわりに
1000万×600本買おうよ

秋山真之

財団法人 愛媛県市町村振興協会